

# 『時事直言』 No.1557 2022年7月7日

[HP] <http://chokugen.com/>

[FAX] 03-3956-1313

[twitter 日本語] t\_masuda2019/

[instagram] t\_masuda2019/

[mail] [info@chokugen.com](mailto:info@chokugen.com)

[twitter 英語] T\_Masuda\_eng/

[Youtube] 増田俊男チャンネル/



時事評論家 増田俊男

## 明日は過去！

本日日本時間午前9時頃、私は機内ですのでご質問等にお答え出来ません。

下記を銘記していただきたいと思います。

それは、唯一日本の中央銀行(日銀)を除く、基軸通貨国アメリカの中央銀行(FRB)や欧州10か国の共通通貨ユーロの自由裁量権を持つ欧州中央銀行(ECB)等が最重要金融政策として取り組んでいる「インフレ対策」は近々終了するという事。

原油その他の価格推移を添付しますので、ご覧下さい。

原油を含む原材料、穀物価格が急騰した原因が何であれ、事実は事実。

2022年初頭から上げ続けてきたエネルギーや穀物価格は6月上旬から一斉に下げに転じ、今後上げに転じることはありません。

日銀は日本の消費者、企業、さらには政府まで犠牲にしてインフレ対策を無視、こともあろうにインフレ加速につながる円安政策推進で日本の資金をアメリカに送り込んでいる(キャピタルフライト)。

アメリカがリセッションへ向かうハードランディングを防ぐ為である。

日銀がやっていることは日本にとってはひどい話だが、(私にとって将来は過去だから)インフレは6月初旬から終わったのだから先進国中日銀のインフレ無視金融政策だけが正しかったことになる。

インフレが終わってFRBの引き締め政策が終われば、残るはウクライナ戦争を皮切りに、今後10年以上続く東西冷戦と言う名の世界規模の公共投資である。

大好況、毎月株価新高値更新にならざるを得ないのではないか。

9月SQを持って正式に下げ相場は終わるが、私にとっては過去の話。

「今日から上げ相場」！である。

今まで買いはリスクが高かったら、これからは少なくなる。

今日から市場の見方を変える必要がある。

7月8日朝一番から皆様の質問にお答え出来ます。

一番良いのは、増田塾(インターネット国際政経塾)で勉強することです。



Wall street journal

「時事直言」の文章及び文中記事の引用をご希望の方は、事前にマスダ U.S. リサーチジャパン株式会社 (FAX : 03-3956-1313) までお知らせ下さい。